

## 4 大阪市内の生物相

### (1) 大阪市内における保護上注目すべき生き物

2017年度末策定の生物多様性戦略において、大阪市内に生息・生育する生き物に関する情報について、各文献・標本などの資料を用いて、収集と整理を行いました。各種調査によると、1950年頃から2017年頃までの大阪市内で生息・生育記録がある生き物は合計4,502種となります。このうち、大阪市内で現在生息・生育しているのは合計4,459種と考えられます。また、大阪市内にかつて生息・生育していたものの、最後に確認されてから30年程経過している、あるいは既知の生息・生育環境が完全に消失したと考えられるため、大阪市内で既に絶滅したと考えられるものは43種となります。

これらのうち、大阪市立自然史博物館が、大阪生物多様性保全ネットワークのレッドデータブック部会の枠組みのもと、各文献・標本などの資料をもとに検討をおこない、環境省のレッドリストの選定基準を参考として、大阪市内での生息・生育数が少ない556種と、今回絶滅と判断した種のうち在来種である34種を「保護上注目すべき生き物」として分類しました。

#### ■大阪市内における保護上注目すべき生き物（総括表）

No.	分類群	市内で生息・生育記録がある生き物					
			生息・生育していると考えられる生き物		絶滅したと考えられる生き物（注1）		
				保護上注目すべき生き物		保護上注目すべき生き物	大阪市内の分布は人為によると思われるもの
1	ほ乳類	16	13	6	3	1	2
2	鳥類	324	319	61	5	0	5
3	爬虫類	11	9	6	2	2	0
4	両生類	7	4	2	3（注2）	3（注2）	0
5	汽水・淡水魚類	120	120	32	0	0	0
6	昆虫類	1,768	1,756	249	12	12	0
7	クモ類	100	100	6	0	0	0
8	陸産貝類	27	27	（注3）	（注3）	（注3）	（注3）
9	淡水産貝類	22	21	9	1	1	0
10	海岸生物（無脊椎動物及び藻類）	231	226	25	5	5	0
11	その他淡水産無脊椎動物	10	10	（注3）	（注3）	（注3）	（注3）
12	維管束植物	1,488	1,476	155	12	10	2（注4）
13	コケ植物	96	96	5	0	0	0
14	菌類	282	282	（注3）	（注3）	（注3）	（注3）
	合計	4,502	4,459	556	43	34	9

注1：大阪市内にかつて生息・生育していた記録が残っているが、最後に確認されてから30年程度経過している、あるいは既知の生息・生育環境が完全に消失したと考えられるため、大阪市内ではすでに絶滅したと考えられる種。

注2：近年一部地域で確認されたトノサマガエルは、人為的に持ち込まれたものであり、かつては大阪市内に生息していたものの、現在はすでに絶滅したと判断し、「保護上注目すべき生き物」として分類した。

注3：大阪市内の生息情報が少なく、データ収集と整理はできないため、生息状況の概要を示す。

注4：園芸的な植栽による維管束植物は、「保護上注目すべき生き物」として分類していない。

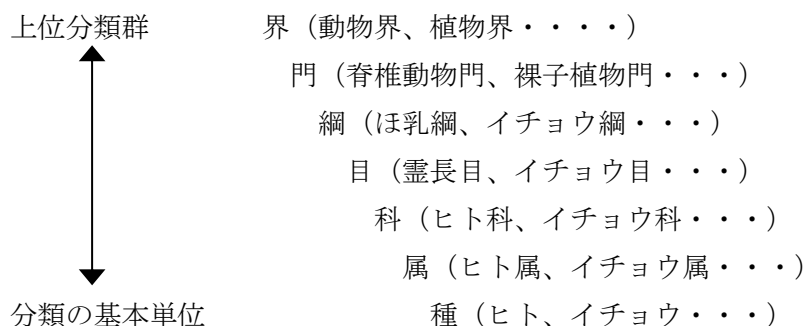
## ■生物種の名称・分類などについて

### ①生物種の名称

本戦略では、わかりやすさの観点から「和名」（生き物に付けられた日本特有の日本語の名称で、一般的に使われているもの）を使用しています。

### ②分類群

生き物は、大方次の7段階に分類されています。（以下のカッコ内の例はヒトとイチョウ）



### ③大阪市内の「保護上注目すべき生き物」の生息・生育環境

1	公園及び近年つくられた緑地
2	社寺林など古くから残る林
3	水田
4	池・堀・運河・中小河川
5	大河川（淀川と大和川、ただし汽水域・感潮域の水辺を除く）
6	干潟、汽水域、感潮域のヨシ原
7	埋立地の裸地・草地など
8	その他

### ④参考（「大阪府レッドリスト 2014」の категория及び定義）

分類群ごとのリストには、大阪府内における生息・生育状況の参考情報として、大阪府レッドリスト 2014 の categoria を掲載しています。

category	定義
絶滅	大阪府内ではすでに絶滅したと考えられる種
絶滅危惧Ⅰ類	大阪府内において絶滅の危機に瀕している種
絶滅危惧Ⅱ類	大阪府内において絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧	大阪府内において存続基盤が脆弱な種
情報不足	評価するだけの情報が不足している種（情報が集まれば絶滅危惧や準絶滅危惧に分類される可能性が高い種）

## ■分類群ごとのリスト

### ①は乳類

大阪市内では16種の哺乳類が確認されています。このうち、外来種は9種、在来種は7種で、この在来種のすべてを「保護上注目すべき生き物」として選定しました。この7種のうち、大阪市内ですでに絶滅したと考えられているのはニホンイタチの1種で、現在生息している在来種の6種のうち、アブラコウモリは大阪市内に広く生息していますが、それ以外の5種（コウベモグラ、キツネ、タヌキ、カヤネズミ、アカネズミ）は、主に淀川や大和川の河川敷に生息しています。淀川のヨシ原などの草地は、こうした在来種にとって重要な生息地となっています。

和名	目名	科名	大阪市内の保護上 注目すべき生き物	生息・生育環境 (注1)	(参考)大阪府レッド リスト 2014
コウベモグラ	食虫目	モグラ科	○	5	
アブラコウモリ	翼手目	ヒナコウモリ科	○	8 (市全域)	
キツネ	食肉目	イヌ科	○	5	絶滅危惧Ⅰ類
タヌキ	食肉目	イヌ科	○	1・2・5・ 8 (市街地)	
ニホンイタチ	食肉目	イタチ科	○ (絶滅 (注2))	-	絶滅危惧Ⅱ類
カヤネズミ	齧歯目	ネズミ科	○	5	準絶滅危惧
アカネズミ	齧歯目	ネズミ科	○	5・7	

注1：資-6の③参照

注2：市内にかつて生息・生育していた記録が残っているが、最後に確認されてから30年程度経過している、あるいは既知の生息・生育環境が完全に消失したと考えられるため、市内ですでに絶滅したと考えられる種。

### ②鳥類

大阪市内では324種の鳥類が確認されています。このうち、外来種は13種、在来種は311種で、この在来種のうち61種を「保護上注目すべき生き物」として選定しました。この61種のうち、大阪市内で繁殖が記録されているのは42種で、うち24種は市街地で繁殖していますが、残りの18種は河川敷や埋立地の裸地や草地、水辺などで繁殖しています。野鳥園臨港緑地（もと南港野鳥園）や舞洲、夢洲は、現在多様な鳥類の生息地となっています。こうした場所は、チュウヒ、ヒバリ、セッカ、オオヨシキリなど大阪市内で繁殖する鳥に限らず、カモ類、シギ・チドリ類、カモメ類、フクロウ類、チュウヒ類、ハヤブサ類など、数多くの鳥類の重要な生息地にもなっています。

和名	目名	科名	大阪市内の保護上注目 すべき生き物(注1)	生息・生育環境 (注2)	(参考)大阪府レッド リスト 2014
ウズラ	キジ目	キジ科	○	5	絶滅危惧Ⅰ類
キジ	キジ目	キジ科	○	5	-
ウミアイサ	カモ目	カモ科	-	-	準絶滅危惧
カイツブリ	カイツブリ目	カイツブリ科	○	4・5	-
ヨシゴイ	ペリカン目	サギ科	○	5・6	絶滅危惧Ⅱ類
ミソゴイ	ペリカン目	サギ科	-	-	絶滅危惧Ⅱ類
ゴイサギ	ペリカン目	サギ科	○	1・4・5	-
ササゴイ	ペリカン目	サギ科	○	1・5	-
アマサギ	ペリカン目	サギ科	-	-	絶滅危惧Ⅱ類
コサギ	ペリカン目	サギ科	○	1・4・5・6	-
クイナ	ツル目	クイナ科	○	5・6	準絶滅危惧
ヒクイナ	ツル目	クイナ科	○	5・6	絶滅危惧Ⅱ類
バン	ツル目	クイナ科	○	4・5・6	-
ツツドリ	カッコウ目	カッコウ科	-	-	準絶滅危惧
ヨタカ	ヨタカ目	ヨタカ科	-	-	絶滅危惧Ⅱ類
タゲリ	チドリ目	チドリ科	-	-	準絶滅危惧
ケリ	チドリ目	チドリ科	○	3	準絶滅危惧

ムナグロ	チドリ目	チドリ科	○	5・6	絶滅危惧Ⅱ類
ダイゼン	チドリ目	チドリ科	○	6	絶滅危惧Ⅱ類
イカルチドリ	チドリ目	チドリ科	-	-	絶滅危惧Ⅱ類
コチドリ	チドリ目	チドリ科	○	5・6・7	準絶滅危惧
シロチドリ	チドリ目	チドリ科	○	6・7	絶滅危惧Ⅱ類
メダイチドリ	チドリ目	チドリ科	○	6	絶滅危惧Ⅱ類
オオメダイチドリ	チドリ目	チドリ科	-	-	準絶滅危惧
オオジシギ	チドリ目	シギ科	○	5・6	準絶滅危惧
チュウジシギ	チドリ目	シギ科	○	5・6	準絶滅危惧
タシギ	チドリ目	シギ科	○	5・6	準絶滅危惧
オグロシギ	チドリ目	シギ科	○	6	準絶滅危惧
オオソリハシシギ	チドリ目	シギ科	○	6	絶滅危惧Ⅱ類
チュウシヤクシギ	チドリ目	シギ科	○	5・6	準絶滅危惧
ダイシヤクシギ	チドリ目	シギ科	○	6	準絶滅危惧
ホウロクシギ	チドリ目	シギ科	○	6	準絶滅危惧
ツルシギ	チドリ目	シギ科	○	5・6	絶滅危惧Ⅱ類
アカアシシギ	チドリ目	シギ科	○	6	準絶滅危惧
コアアシシギ	チドリ目	シギ科	○	6	準絶滅危惧
アアシシギ	チドリ目	シギ科	○	6	絶滅危惧Ⅱ類
クサシギ	チドリ目	シギ科	-	-	準絶滅危惧
タカバシギ	チドリ目	シギ科	○	5・6	絶滅危惧Ⅱ類
キアシシギ	チドリ目	シギ科	○	6	準絶滅危惧
ソリハシシギ	チドリ目	シギ科	○	6	絶滅危惧Ⅱ類
キョウジョシギ	チドリ目	シギ科	○	6	絶滅危惧Ⅱ類
オバシギ	チドリ目	シギ科	○	6	絶滅危惧Ⅱ類
イソシギ	チドリ目	シギ科	-	-	準絶滅危惧
コオバシギ	チドリ目	シギ科	○	6	準絶滅危惧
ミュビシギ	チドリ目	シギ科	-	-	準絶滅危惧
トウネン	チドリ目	シギ科	○	6	準絶滅危惧
オジロトウネン	チドリ目	シギ科	○	6	準絶滅危惧
ヒバリシギ	チドリ目	シギ科	○	6	絶滅危惧Ⅱ類
ウズラシギ	チドリ目	シギ科	○	6	絶滅危惧Ⅱ類
サルハマシギ	チドリ目	シギ科	○	6	準絶滅危惧
ハマシギ	チドリ目	シギ科	○	5・6	-
キリアイ	チドリ目	シギ科	○	6	準絶滅危惧
エリマキシギ	チドリ目	シギ科	○	6	準絶滅危惧
アカエリヒレアシシギ	チドリ目	シギ科	○	6	-
タマシギ	チドリ目	タマシギ科	-	-	絶滅危惧Ⅱ類
ツバメチドリ	チドリ目	ツバメチドリ科	-	-	絶滅危惧Ⅰ類
ズグロカモメ	チドリ目	カモメ科	-	-	準絶滅危惧
コアジサシ	チドリ目	カモメ科	○	6・7	絶滅危惧Ⅰ類
ベニアジサシ	チドリ目	カモメ科	○	7	準絶滅危惧
ハチクマ	タカ目	タカ科	-	-	絶滅危惧Ⅰ類
チュウヒ	タカ目	タカ科	○	5・6・7	絶滅危惧Ⅰ類
ハイロチュウヒ	タカ目	タカ科	○	5・6・7	準絶滅危惧
ツミ	タカ目	タカ科	-	-	絶滅危惧Ⅱ類
オオタカ	タカ目	タカ科	-	-	絶滅危惧Ⅱ類
サシバ	タカ目	タカ科	-	-	絶滅危惧Ⅰ類
ノスリ	タカ目	タカ科	○	5・6・7	準絶滅危惧
フクロウ	フクロウ目	フクロウ科	-	-	準絶滅危惧
アオバズク	フクロウ目	フクロウ科	-	-	絶滅危惧Ⅱ類
トラフズク	フクロウ目	フクロウ科	○	5・6・7	絶滅危惧Ⅱ類
コミミズク	フクロウ目	フクロウ科	○	5・6・7	絶滅危惧Ⅱ類
オオアカガラ	キツツキ目	キツツキ科	-	-	準絶滅危惧
コチュウゲンボウ	ハヤブサ目	ハヤブサ科	○	5・6・7	準絶滅危惧
ハヤブサ	ハヤブサ目	ハヤブサ科	○	5・7	-
サンショウクイ	スズメ目	サンショウクイ科	-	-	絶滅危惧Ⅱ類
モズ	スズメ目	モズ科	○	1・5	-
ツリスガラ	スズメ目	ツリスガラ科	○	5・6・7	-
ヒバリ	スズメ目	ヒバリ科	○	5・7	準絶滅危惧
コシアカツバメ	スズメ目	ツバメ科	-	-	準絶滅危惧
センダイムシクイ	スズメ目	ムシクイ科	-	-	準絶滅危惧

オオヨシキリ	スズメ目	ヨシキリ科	○	5・6・7	準絶滅危惧
セッカ	スズメ目	セッカ科	○	5・6・7	準絶滅危惧
トラツグミ	スズメ目	ヒタキ科	-	-	準絶滅危惧
コサメビタキ	スズメ目	ヒタキ科	-	-	絶滅危惧Ⅱ類
セグロセキレイ	スズメ目	セキレイ科	○	1・3・4・5	-
ベニマシコ	スズメ目	アトリ科	○	5・6・7	-
ホオアカ	スズメ目	ホオジロ科	○	5	準絶滅危惧
カシラダカ	スズメ目	ホオジロ科	-	-	準絶滅危惧
ミヤマホオジロ	スズメ目	ホオジロ科	-	-	準絶滅危惧
オオジュリン	スズメ目	ホオジロ科	○	5・6・7	準絶滅危惧

注1：大阪市内で確認されているが、大阪市内では繁殖していない、あるいは不定期に記録されるに過ぎず大阪市内での保全の必要がないと判断した種は、「保護上注目すべき生き物」として分類していない。

注2：資-6の③参照

### ③爬虫類

大阪市内では11種の爬虫類が確認されています。このうち、外来種は1種、在来種は10種で、この在来種のうち8種を「保護上注目すべき生き物」として選定しました。この8種のうち、家屋に生息するアオダイショウ以外の生息地は主に水辺周辺や草地などです。大阪市内ではこのような自然環境は減少しており、公園などで細々と生き延びています。

和名	目名	科名	大阪市内の保護上 注目すべき生き物	生息・生育環境 (注1)	(参考)大阪府レッド リスト2014
ニホンイシガメ	カメ目	イシガメ科	○	4・5	準絶滅危惧
ニホンスッポン	カメ目	スッポン科	○	4・5	-
ニホントカゲ	有鱗目	トカゲ科	○	1・2	-
ニホンカナヘビ	有鱗目	カナヘビ科	○	1・2	-
アオダイショウ	有鱗目	ナミヘビ科	○	1・2・8(市街地)	-
シマヘビ	有鱗目	ナミヘビ科	○	1	-
ヒバカリ	有鱗目	ナミヘビ科	○(絶滅(注2))	-	絶滅危惧Ⅱ類
ニホンマムシ	有鱗目	クサリヘビ科	○(絶滅(注2))	-	-

注1：資-6の③参照

注2：市内にかつて生息・生育していた記録が残っているが、最後に確認されてから30年程度経過している、あるいは既知の生息・生育環境が完全に消失したと考えられるため、市内ではすでに絶滅したと考えられる種。

### ④両生類

大阪市内では7種の両生類が確認されています。このうち、外来種は2種、在来種は5種で、この在来種のすべてを「保護上注目すべき生き物」として選定しました。この5種のうち、かつて大阪市内の水田周辺に生息していたニホンアカガエル、ダルマガエル、トノサマガエルの3種は大阪市内ではすでに絶滅しており、現在生息しているのは、ニホンアマガエルとヌマガエルのみです。水田に生息するヌマガエルは、大阪市内では水田が減少しているため、ほとんど見られなくなっています。ニホンアマガエルは、水田以外の場所でも生息することができますが、繁殖には水辺環境が必要で、水辺環境の減少によって、姿が見られなくなっています。

和名	目名	科名	大阪市内の保護上注目 すべき生き物	生息・生育環境 (注1)	(参考)大阪府レッド リスト2014
ニホンアマガエル	無尾目	アマガエル科	○	3・4	-
ニホンアカガエル	無尾目	アカガエル科	○(絶滅(注2))	-	絶滅危惧Ⅱ類
ツチガエル	無尾目	アカガエル科	- (注3)	-	準絶滅危惧
ダルマガエル	無尾目	アカガエル科	○(絶滅(注2))	-	絶滅危惧Ⅰ類
トノサマガエル	無尾目	アカガエル科	○(絶滅(注2・4))	-	準絶滅危惧
ヌマガエル	無尾目	ヌマガエル科	○	4	-

注1：資-6の③参照

注2：市内にかつて生息・生育していた記録が残っているが、最後に確認されてから30年程度経過している、あるいは既知の生息・生育環境が完全に消失したと考えられるため、市内ではすでに絶滅したと考えられる種。

注3：一部地域で生息しているツチガエルは、人為的に持ち込まれたものであり、市内にはもともと生息していないと考えられるため、「保護上注目すべき生き物」として分類していない。

注4：近年一部地域で確認されたトノサマガエルは、人為的に持ち込まれたものであり、かつては大阪市内に生息していたものの、現在はすでに絶滅したと判断し、「保護上注目すべき生き物」として分類した。

## ⑤汽水・淡水魚類

大阪市内では120種の汽水・淡水魚類が確認されています。このうち、外来種は24種、在来種は96種で、この在来種のうち32種を「保護上注目すべき生き物」として選定しました。この32種のうち25種が純淡水魚で、淀川水系を中心に見られていたイチモンジタナゴ、カワバタモロコ、ツチフキ、デメモロコ、アユモドキは近年生息が確認されていません。また、生息域外保全によって野生復帰したイタセンパラをはじめとするタナゴ類数種は、淀川ワンド群のわずかな水域に分布が限られており、外来種の継続的な駆除など、人の管理によって個体群が維持されている状況です。琵琶湖淀川水系の固有種であるヨドゼゼラやワタカについても個体数が減少しており、淀川ワンド群はこれらの種にとっても重要な生息域となっています。ミナミメダカは、かつては市内各地の水域に生息していましたが、水田の減少や河川の護岸化、外来種であるカダヤシの分布拡大などにより生息域が激減しています。在来魚の保全上特に重要な場所として、淡水域では淀川ワンド群、汽水域・海域では十三干潟から矢倉海岸や大和川河口干潟などの淀川・大和川汽水域があげられます。

和名	目名	科名	大阪市内の保護上 注目すべき生き物	生息・生育環境 (注1)	(参考)大阪府レッド リスト2014
ニホンウナギ ※	ウナギ目	ウナギ科	○	4 (中小河川のみ)・5・6(中小河川を含む)	絶滅危惧Ⅱ類
ゲンゴロウブナ ※	コイ目	コイ科	○	4 (中小河川のみ)・5・6(中小河川を含む)	-
ヤリタナゴ	コイ目	コイ科	○	5 (淀川のみ)	絶滅危惧Ⅰ類
イチモンジタナゴ	コイ目	コイ科	○	5 (淀川のみ、ただし1990年代を最後に記録なし)	絶滅危惧Ⅰ類
イタセンパラ	コイ目	コイ科	○	5 (淀川のみ)	絶滅危惧Ⅰ類
シロヒレタビラ	コイ目	コイ科	○	4 (中小河川のみ)・5 (淀川のみ)	絶滅危惧Ⅰ類
ワタカ	コイ目	コイ科	○	4 (中小河川のみ)・5 (淀川のみ)	絶滅危惧Ⅰ類
カワバタモロコ	コイ目	コイ科	○	5 (淀川のみ、ただし1980年代を最後に記録なし)	絶滅危惧Ⅰ類
ハス	コイ目	コイ科	○	4 (運河・中小河川のみ)・5	準絶滅危惧
ウグイ ※	コイ目	コイ科	○	5 (淀川のみ)・6 (淀川のみ)	情報不足
カワヒガイ	コイ目	コイ科	○	4 (中小河川のみ)・5 (淀川のみ)	絶滅危惧Ⅰ類
ムギツク ※	コイ目	コイ科	○	5 (淀川のみ)	絶滅危惧Ⅱ類
タモロコ ※	コイ目	コイ科	○	4 (中小河川のみ)・5	準絶滅危惧
ゼゼラ ※	コイ目	コイ科	○	5 (淀川のみ)	絶滅危惧Ⅱ類
ヨドゼゼラ	コイ目	コイ科	○	5 (淀川のみ)	絶滅危惧Ⅱ類
ツチフキ	コイ目	コイ科	○	5 (淀川のみ、ただし1980年代を最後に記録なし)	絶滅危惧Ⅰ類
デメモロコ	コイ目	コイ科	○	5 (淀川のみ、ただし1980年代を最後に記録なし)	情報不足
アユモドキ	コイ目	ドジョウ科	○	5 (淀川のみ、ただし1990年代を最後に記録なし)	絶滅危惧Ⅰ類
ドジョウ	コイ目	ドジョウ科	○	4 (池のみ)・5	絶滅危惧Ⅱ類
ヨドコガタスジシマドジョウ	コイ目	ドジョウ科	○	5 (淀川のみ)	絶滅危惧Ⅰ類
チュウガタスジシマドジョウ	コイ目	ドジョウ科	○	5 (淀川のみ)	絶滅危惧Ⅰ類
ギギ	ナマズ目	ギギ科	○	4 (中小河川のみ)・5	準絶滅危惧
ピワコオオナマズ ※	ナマズ目	ナマズ科	○	5 (淀川のみ、ただし1990年代を最後に記録なし)	準絶滅危惧
ナマズ	ナマズ目	ナマズ科	○	4 (中小河川のみ)・5	準絶滅危惧
アユ	サケ目	アユ科	○	4 (運河・中小河川のみ)・5・6(中小河川を含む)	準絶滅危惧
シラウオ ※	サケ目	シラウオ科	○	6 (淀川・神崎川のみ、ただし1990年代を最後に記録なし)	情報不足
サツキマス・アマゴ ※	サケ目	サケ科	○	5 (淀川のみ)・6 (淀川のみ)	情報不足
ミナミメダカ	ダツ目	メダカ科	○	4 (池・中小河川のみ)・5・6	絶滅危惧Ⅱ類
ドンコ ※	スズキ目	ドンコ科	○	5	-
ゴクラクハゼ ※	スズキ目	ハゼ科	○	4 (運河・中小河川のみ)・5・6(中小河川を含む)	-
シマヒレヨシノボリ ※	スズキ目	ハゼ科	○	4 (池のみ)・5	準絶滅危惧

ウキゴリ ※	スズキ目	ハゼ科	○	4 (中小河川のみ)・5・6(中小河川を含む)	準絶滅危惧
--------	------	-----	---	-------------------------	-------

※：大阪市内における希少性・絶滅の危険性を判断するための情報が不足している種  
注1：資-6の③参照

## ⑥昆虫

大阪市内では1,768種の昆虫が確認されています。このうち、外来種は88種、在来種は1,680種で、この在来種のうち261種を「保護上注目すべき生き物」として選定しました。この261種のうち、水辺環境の減少などにより、すでに絶滅したと考えられているのはマルコガタノゲンゴロウやコバンムシなどの12種です。現在生息している種についても、その多くで個体数が減少しており、水生昆虫でその傾向が顕著であると言えます。淀川ワンド群はアメンボ類など水生昆虫の重要な生息地であり、特にエサキアメンボは市内ではワンド群での記録しかありませんが、近年個体数は減少していると考えられます。淀川汽水域のヨシ原に生息するヒヌマイトトンボは、一時期絶滅が心配されましたが、個体数は少ないものの、近年再確認されました。

カミキリムシ類やクワガタムシ類など樹木や朽木に依存する昆虫は、市街化に伴い林が失われていく中、社寺林や河川敷に残った林などで細々と生息していましたが、林の縮小・乾燥化により個体数はさらに減少しています。また、ツシマヒメサビキコリやオオサカスジコガネなどは、河川周辺の草地や砂地の減少により個体数が減少しました。かつて非常に多く見られたドウガネブイブイも現在では非常に少なくなっています。

和名	目名	科名	大阪市内の保護上 注目すべき生き物	生息・生育環境 (注1)	(参考)大阪府レッド リスト2014
ホソミイトトンボ	トンボ目	イトトンボ科	○	4	準絶滅危惧
キイトトンボ	トンボ目	イトトンボ科	○	4	準絶滅危惧
ベニイトトンボ	トンボ目	イトトンボ科	○	4	準絶滅危惧
ヒヌマイトトンボ	トンボ目	イトトンボ科	○	6	絶滅危惧Ⅰ類
モートンイトトンボ	トンボ目	イトトンボ科	○	4	絶滅危惧Ⅰ類
セスジイトトンボ	トンボ目	イトトンボ科	○	4	準絶滅危惧
ムスジイトトンボ	トンボ目	イトトンボ科	○	4	-
オオイトトンボ	トンボ目	イトトンボ科	○	4	絶滅危惧Ⅰ類
モノサシトンボ	トンボ目	モノサシトンボ科	○	4・5	-
コバネアオイトトンボ	トンボ目	アオイトトンボ科	○(絶滅(注2))	4・5	絶滅危惧Ⅰ類
オツネイトトンボ	トンボ目	アオイトトンボ科	○	4	準絶滅危惧
ハグロトンボ	トンボ目	カワトンボ科	○	5	-
アオハダトンボ	トンボ目	カワトンボ科	○(絶滅(注2))	5	絶滅危惧Ⅰ類
ミヤマサナエ	トンボ目	サナエトンボ科	○	5	絶滅危惧Ⅱ類
ホンサナエ	トンボ目	サナエトンボ科	○	5	絶滅危惧Ⅱ類
オナガサナエ	トンボ目	サナエトンボ科	○	5	-
コオニヤンマ	トンボ目	サナエトンボ科	○	4・5	-
ウチワヤンマ	トンボ目	サナエトンボ科	○	4・5	準絶滅危惧
オオサカサナエ	トンボ目	サナエトンボ科	○	5	絶滅危惧Ⅱ類
ナゴヤサナエ	トンボ目	サナエトンボ科	○	5	情報不足
メガネサナエ	トンボ目	サナエトンボ科	○	5	絶滅危惧Ⅱ類
フタスジサナエ	トンボ目	サナエトンボ科	○	4	準絶滅危惧
オグマサナエ	トンボ目	サナエトンボ科	○	4	絶滅危惧Ⅱ類
ネアカヨシヤンマ	トンボ目	ヤンマ科	○	4	絶滅危惧Ⅱ類
アオヤンマ	トンボ目	ヤンマ科	○	4	絶滅危惧Ⅱ類
マルタンヤンマ	トンボ目	ヤンマ科	○	4	準絶滅危惧
クロスジギンヤンマ	トンボ目	ヤンマ科	○	4	-
カトリヤンマ	トンボ目	ヤンマ科	○	4・5	準絶滅危惧
オニヤンマ	トンボ目	オニヤンマ科	○	4・5	-
トラフトンボ	トンボ目	エゾトンボ科	○	4	準絶滅危惧
コヤマトンボ	トンボ目	ヤマトンボ科	○	4・5	-

コフキトンボ	トンボ目	トンボ科	○	4	準絶滅危惧
ベッコウトンボ	トンボ目	トンボ科	○(絶滅(注2))	4	絶滅
ヨツボシトンボ	トンボ目	トンボ科	○	4	準絶滅危惧
ハラビロトンボ	トンボ目	トンボ科	○	4	-
シオヤトンボ	トンボ目	トンボ科	○	4	-
チョウトンボ	トンボ目	トンボ科	○	4	-
コノシメトンボ	トンボ目	トンボ科	○	4	-
キトンボ	トンボ目	トンボ科	○	4	絶滅危惧Ⅱ類
ナツアカネ	トンボ目	トンボ科	○	3・4	準絶滅危惧
マユタテアカネ	トンボ目	トンボ科	○	4	-
アキアカネ	トンボ目	トンボ科	○	3・4	準絶滅危惧
ナニワトンボ	トンボ目	トンボ科	○	4	絶滅危惧Ⅱ類
ノシメトンボ	トンボ目	トンボ科	○	4	準絶滅危惧
マイコアカネ	トンボ目	トンボ科	○	4	準絶滅危惧
ヒメアカネ	トンボ目	トンボ科	○	4	準絶滅危惧
リヌアカネ	トンボ目	トンボ科	○	4	-
タイリクアカネ	トンボ目	トンボ科	○	4	-
オオキトンボ	トンボ目	トンボ科	○	4	絶滅危惧Ⅰ類
オオゴキブリ	ゴキブリ目	オオゴキブリ科	○	2	-
キョウトゴキブリ	ゴキブリ目	チャバネゴキブリ科	○	2	情報不足
ツチゴキブリ	ゴキブリ目	チャバネゴキブリ科	○	5	-
ヤマトゴキブリ	ゴキブリ目	ゴキブリ科	○	2・5	-
スズムシ	バッタ目	マツムシ科	○	5	-
マツムシ	バッタ目	マツムシ科	○	5	-
キンヒバリ	バッタ目	ヒバリモドキ科	○	5	-
ケラ	バッタ目	ケラ科	○	1・5	-
ニセハネナガヒシバツタ	バッタ目	ヒシバツタ科	○	5	-
ヒメヒシバツタ	バッタ目	ヒシバツタ科	○	5	-
クツワムシ	バッタ目	クツワムシ科	○	5	準絶滅危惧
ヒナバッタ	バッタ目	バッタ科	○	5	-
クルマバッタ	バッタ目	バッタ科	○	5	-
ハネナガイナゴ	バッタ目	バッタ科	○	3・5	-
ナナフシモドキ	ナナフシ目	ナナフシモドキ科	○	2	-
コヒゲジロハサミムシ	ハサミムシ目	ハサミムシ科	○	5	絶滅危惧Ⅰ類
ムモンミズカメムシ	カメムシ目	ミズカメムシ科	○	4	準絶滅危惧
イトアメンボ	カメムシ目	イトアメンボ科	○	3・4	絶滅危惧Ⅱ類
オオアメンボ	カメムシ目	アメンボ科	○	4	-
ヤスマツアメンボ	カメムシ目	アメンボ科	○	4	準絶滅危惧
エサキアメンボ	カメムシ目	アメンボ科	○	5(ワンドに限られる)	絶滅危惧Ⅱ類
コバンムシ	カメムシ目	コバンムシ科	○(絶滅(注2))	4	絶滅危惧Ⅰ類
コオイムシ	カメムシ目	コオイムシ科	○	3・4	準絶滅危惧
タガメ	カメムシ目	コオイムシ科	○(絶滅(注2))	4	絶滅危惧Ⅱ類
タイコウチ	カメムシ目	タイコウチ科	○	4	-
ミズカマキリ	カメムシ目	タイコウチ科	○	4	準絶滅危惧
ヒメミズカマキリ	カメムシ目	タイコウチ科	○	4	準絶滅危惧
ミゾナシミズムシ	カメムシ目	ミズムシ科	○	4	-
ホッケミズムシ	カメムシ目	ミズムシ科	○	4	-
チッチゼミ	カメムシ目	ゼミ科	○	1	-
ヤマトシリアゲ	シリアゲムシ目	シリアゲムシ科	○	5	-
モイワウスバカゲロウ	アミメカゲロウ目	ウスバカゲロウ科	○	2	-
ホシウスバカゲロウ	アミメカゲロウ目	ウスバカゲロウ科	○	1・2・5	-
キョウコシマハナアブ	ハエ目	ハナアブ科	○	5	-
コマバムツボシヒラタアブ	ハエ目	ハナアブ科	○	1・5	-
クロベッコウハナアブ	ハエ目	ハナアブ科	○	5	-
シロスジベッコウハナアブ	ハエ目	ハナアブ科	○	5	-
ヨドシロヘリハンミョウ	コウチュウ目	ハンミョウ科	○(絶滅(注2))	6	絶滅
エリザハンミョウ	コウチュウ目	ハンミョウ科	○	5	-
コハンミョウ	コウチュウ目	ハンミョウ科	○	5	-
ナガマルガタゴミムシ	コウチュウ目	オサムシ科	○	5	-
スジミズアトキリゴミムシ	コウチュウ目	オサムシ科	○	5	-
ヨツボシミズギワゴミムシ	コウチュウ目	オサムシ科	○	5	-



エゾカタビロオサムシ	コウチュウ目	オサムシ科	○	5	-
オオアトボシアオゴミムシ	コウチュウ目	オサムシ科	○	5	-
アオゴミムシ	コウチュウ目	オサムシ科	○	5	-
マイマイカブリ	コウチュウ目	オサムシ科	○	5	-
オオスナハラゴミムシ	コウチュウ目	オサムシ科	○	5	-
アリスアトキリゴミムシ	コウチュウ目	オサムシ科	○	5	-
クロオビコミズギワゴミムシ	コウチュウ目	オサムシ科	○	5	-
コガシラナガゴミムシ	コウチュウ目	オサムシ科	○	5	-
キンナガゴミムシ	コウチュウ目	オサムシ科	○	5	-
オオクロナガゴミムシ	コウチュウ目	オサムシ科	○	5	-
オオヒョウタンゴミムシ	コウチュウ目	オサムシ科	○(絶滅(注2))	5	絶滅危惧Ⅰ類
ムツボシツヤコツブゲンゴロウ	コウチュウ目	コツブゲンゴロウ科	○(絶滅(注2))	4	情報不足
コツブゲンゴロウ	コウチュウ目	コツブゲンゴロウ科	○	4	-
ゲンゴロウ	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	○(絶滅(注2))	4	絶滅危惧Ⅰ類
マルコガタノゲンゴロウ	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	○(絶滅(注2))	4	絶滅
シャープゲンゴロウモドキ	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	○(絶滅(注2))	4	絶滅
コシマゲンゴロウ	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	○	3・4	-
ケンゲンゴロウ	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	○	3・4	準絶滅危惧
ヒメゲンゴロウ	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	○	3・4	-
ミズスマシ	コウチュウ目	ミズスマシ科	○	4	絶滅危惧Ⅱ類
セマルケンガムシ	コウチュウ目	ガムシ科	○	4	-
コガムシ	コウチュウ目	ガムシ科	○	3・4	準絶滅危惧
ヒメガムシ	コウチュウ目	ガムシ科	○	3・4	-
ツシマヒラタシデムシ	コウチュウ目	シデムシ科	○	5	準絶滅危惧
モモトシデムシ	コウチュウ目	シデムシ科	○	5	-
コクロシデムシ	コウチュウ目	シデムシ科	○	5	-
オニヒラタシデムシ	コウチュウ目	シデムシ科	○	5	-
ヒメヒラタシデムシ	コウチュウ目	シデムシ科	○	5	-
チビクワガタ	コウチュウ目	クワガタムシ科	○	2・5	-
コクワガタ	コウチュウ目	クワガタムシ科	○	1・2・5	-
ノギリクワガタ	コウチュウ目	クワガタムシ科	○	2・5	-
ドウガネブイブイ	コウチュウ目	コガネムシ科	○	5	準絶滅危惧
オオサカスジコガネ	コウチュウ目	コガネムシ科	○	5	-
ハンノヒメコガネ	コウチュウ目	コガネムシ科	○	5	-
ヒメコガネ	コウチュウ目	コガネムシ科	○	5	-
コスジマグソコガネ	コウチュウ目	コガネムシ科	○	5	-
コマグソコガネ	コウチュウ目	コガネムシ科	○	5	-
フチケマグソコガネ	コウチュウ目	コガネムシ科	○	5	-
アオハナムグリ	コウチュウ目	コガネムシ科	○	5	-
コカブトムシ	コウチュウ目	コガネムシ科	○	2	-
ナガチャコガネ	コウチュウ目	コガネムシ科	○	5	-
コクロコガネ	コウチュウ目	コガネムシ科	○	5	-
コガネムシ	コウチュウ目	コガネムシ科	○	5	-
マルエンマコガネ	コウチュウ目	コガネムシ科	○	5	絶滅危惧Ⅱ類
ウスチャコガネ	コウチュウ目	コガネムシ科	○	5	-
ヒゲコガネ	コウチュウ目	コガネムシ科	○	5	絶滅危惧Ⅱ類
セマルケンマグソコガネ	コウチュウ目	コガネムシ科	○	5	準絶滅危惧
シラケナガタマムシ	コウチュウ目	タマムシ科	○	2・5	-
ウバタマムシ	コウチュウ目	タマムシ科	○	2	-
ハマバオオヒメサビキコリ	コウチュウ目	コメツキムシ科	○	5	絶滅危惧Ⅱ類
ツシマヒメサビキコリ	コウチュウ目	コメツキムシ科	○	5	準絶滅危惧
ウバタマコメツキ	コウチュウ目	コメツキムシ科	○	2	-
ジュウジミズギワコメツキ	コウチュウ目	コメツキムシ科	○	5	-
ヤマトヒメメダカカッコムシ	コウチュウ目	カッコムシ科	○	5・6	-
ジュウクホシテントウ	コウチュウ目	テントウムシ科	○	5・6	準絶滅危惧
ジュウサンホシテントウ	コウチュウ目	テントウムシ科	○	5・6	準絶滅危惧
クロスジチャイロテントウ	コウチュウ目	テントウムシ科	○	5・6	準絶滅危惧
アカイロテントウ	コウチュウ目	テントウムシ科	○	1・2・5	-
ヨツコゴミムシダマシ	コウチュウ目	ゴミムシダマシ科	○	2	-
クチキムシ	コウチュウ目	クチキムシ科	○	2	-

ピロウドカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2	-
ゴマダラカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2・5	-
シロスジカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2・5	-
ケプトハナカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2	絶滅危惧Ⅱ類
クロトラカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2	-
フタオビミドリトラカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○(絶滅(注2))	2	-
シラケトラカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2	-
アカハナカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2	-
クモガタケシカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2	-
オオヨツスジハナカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2	-
ナガゴマフカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2・5	-
ヒゲナガカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2	-
オオシロカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2・5	-
ヒメスギカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2	-
ノコギリカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2・5	-
コバネカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2・5	-
ベニカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	5	-
スギカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2・5	-
キイロメダカカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2	-
マルクビケマダラカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2	-
トラフカミキリ	コウチュウ目	カミキリムシ科	○	2・5	絶滅危惧Ⅱ類
バラルリツツハムシ	コウチュウ目	ハムシ科	○	5	-
キオビクビボソハムシ	コウチュウ目	ハムシ科	○	5	-
ヤマイモハムシ	コウチュウ目	ハムシ科	○	5	-
ウスモンカレキゾウムシ	コウチュウ目	ゾウムシ科	○	2・5	-
ハスジカツオゾウムシ	コウチュウ目	ゾウムシ科	○	5	-
カツオゾウムシ	コウチュウ目	ゾウムシ科	○	5	-
ヒゲジロキバチ	ハチ目	キバチ科	○	2	-
ニホンキバチ	ハチ目	キバチ科	○	2	-
ノコギリハリアリ	ハチ目	アリ科	○	2	-
カドフシアリ	ハチ目	アリ科	○	2	-
コツノアリ	ハチ目	アリ科	○	2	-
イトウハリアリ	ハチ目	アリ科	○	2	-
ワタセハリアリ	ハチ目	アリ科	○	2	-
トカラウロコアリ	ハチ目	アリ科	○	2	-
オオハラナガツチバチ	ハチ目	ツチバチ科	○	2・5	-
シロオビハラナガツチバチ	ハチ目	ツチバチ科	○	5	-
ムモンホソアシナガバチ	ハチ目	スズメバチ科	○	2・5	-
キボシアシナガバチ	ハチ目	スズメバチ科	○	2・5	-
キアシナガバチ	ハチ目	スズメバチ科	○	2・5	-
ナミカバフドロバチ	ハチ目	ドロバチ科	○	1・5	-
キアシトックリバチ	ハチ目	ドロバチ科	○	1・5	-
フカイドロバチ	ハチ目	ドロバチ科	○	1・5	-
チャイロスズメバチ	ハチ目	スズメバチ科	○	2・5	-
オオスズメバチ	ハチ目	スズメバチ科	○	2・5	-
キイロスズメバチ	ハチ目	スズメバチ科	○	2・5	-
クロスズメバチ	ハチ目	スズメバチ科	○	2・5	-
キボシトックリバチ	ハチ目	ドロバチ科	○	1・5	-
フトカギチビドロバチ	ハチ目	ドロバチ科	○	1・5	-
サトセナガアナバチ	ハチ目	セナガアナバチ科	○	1・2	-
ミカドジガバチ	ハチ目	アナバチ科	○	2・5	-
キゴシジガバチ	ハチ目	アナバチ科	○	5	絶滅危惧Ⅱ類
マルモンツチスガリ	ハチ目	ギングチバチ科	○	5	-
オオギングチバチ	ハチ目	ギングチバチ科	○	2	-
ツヤビソ	ハチ目	ギングチバチ科	○	2・5	-
アカゴシクモバチ	ハチ目	クモバチ科	○	5	-
フタモンクモバチ	ハチ目	クモバチ科	○	2	-
ヤマトハキリバチ	ハチ目	ハキリバチ科	○	5	-
ニホンミツバチ	ハチ目	ミツバチ科	○	1・2・5	-
コマルハナバチ	ハチ目	ミツバチ科	○	5	-
クロマルハナバチ	ハチ目	ミツバチ科	○	5	情報不足
ゴキブリヤセバチ	ハチ目	ヤセバチ科	○	1・2	-

アオハセセリ	チョウ目	セセリチョウ科	○	2・5	準絶滅危惧
オオチャバネセセリ	チョウ目	セセリチョウ科	○	2・5	準絶滅危惧
キマダラセセリ	チョウ目	セセリチョウ科	○	5	-
カラスアゲハ日本本土・朝鮮半島亜種	チョウ目	アゲハチョウ科	○	2・5	-
モンキアゲハ	チョウ目	アゲハチョウ科	○	5	-
ツマグロキチョウ	チョウ目	シロチョウ科	○	5	絶滅危惧Ⅰ類
スジグロシロチョウ	チョウ目	シロチョウ科	○	5	-
トラフシジミ	チョウ目	シジミチョウ科	○	5	-
コムラサキ	チョウ目	タテハチョウ科	○	1・5	-
ルリタテハ日本本土亜種	チョウ目	タテハチョウ科	○	5	-
サトキマダラヒカゲ	チョウ目	タテハチョウ科	○	5	-
コミスジ本州以南亜種	チョウ目	タテハチョウ科	○	5	-
ヒオドシチョウ	チョウ目	タテハチョウ科	○	1・2・5	-
キタテハ	チョウ目	タテハチョウ科	○	5	-
アカタテハ	チョウ目	タテハチョウ科	○	5	-
ヒメジャノメ	チョウ目	タテハチョウ科	○	5	-
ヒメウラナミジャノメ	チョウ目	タテハチョウ科	○	2・5	-
オオモモトスカシバ本土亜種	チョウ目	スカシバガ科	○	1・2・5	-
コスカシバ	チョウ目	スカシバガ科	○	1・2・5	-
カシコスカシバ	チョウ目	スカシバガ科	○	2・5	-
ハチノスツヅリガ	チョウ目	メイガ科	○	2・5	-
マダラミズメイガ本州以南亜種	チョウ目	ツトガ科	○	4・5	-
ヒメマダラミズメイガ	チョウ目	ツトガ科	○	4・5	-
シロオビフユシャク	チョウ目	シャクガ科	○	1・2・5	-
ウスバフユシャク	チョウ目	シャクガ科	○	1・2・5	-
ホソウスバフユシャク	チョウ目	シャクガ科	○	1・2・5	-
マツカレハ	チョウ目	カレハガ科	○	2・5	-
クスギカレハ屋久島以北亜種	チョウ目	カレハガ科	○	2・5	-
ヤママユ屋久島以北亜種	チョウ目	ヤママユガ科	○	2・5	-
シンジュサン対馬以外亜種	チョウ目	ヤママユガ科	○	2・5	-
クスサン屋久島以北亜種	チョウ目	ヤママユガ科	○	2・5	-
ベニスズメ	チョウ目	スズメガ科	○	5	-
オオシモフリスズメ	チョウ目	スズメガ科	○	5	準絶滅危惧
ヒメクロホウジャク	チョウ目	スズメガ科	○	5	-
クロホウジャク	チョウ目	スズメガ科	○	5	-
クチバスズメ	チョウ目	スズメガ科	○	5	-
スゲドクガ	チョウ目	ドクガ科	○	4・5	準絶滅危惧
スゲオオドクガ	チョウ目	ドクガ科	○	4・5	-
ブチヒゲヤナギドクガ	チョウ目	ドクガ科	○	5	絶滅危惧Ⅱ類
カノコガ	チョウ目	ヒトリガ科	○	5	-
ウスアオリンガ	チョウ目	コブガ科	○	5	準絶滅危惧
ガマヨトウ	チョウ目	ヤガ科	○	4・5	準絶滅危惧
オオトモエ	チョウ目	ヤガ科	○	2・5	-
ヒメアケビコノハ	チョウ目	ヤガ科	○	2・5	-
アケビコノハ	チョウ目	ヤガ科	○	2・5	-
ハグルマトモエ	チョウ目	ヤガ科	○	2・5	-
ムクゲコノハ	チョウ目	ヤガ科	○	5	-

注1：資-6の③参照

注2：市内にかつて生息・生育していた記録が残っているが、最後に確認されてから30年程度経過している、あるいは既知の生息・生育環境が完全に消失したと考えられるため、市内ではすでに絶滅したと考えられる種。

## ⑦クモ類

大阪市内では100種のクモ類が確認されています。このうち、外来種は3種、在来種は94種で、この在来種のうち6種を「保護上注目すべき生き物」として選定しました。この6種のうち、ジグモやワスレナグモなど林床に生息するものは減少傾向にあり、公園などでわずかに見られる程度です。また、コガネグモも、餌としている大型の昆虫が減少していることから、あ

まり見られなくなりました。ヒトエグモは、上町台地の古い家屋内やその周辺でのみ見られますが、古い建造物の取り壊し・改築により減少していると考えられています。

和名	目名	科名	大阪市内の保護上 注目すべき生き物	生息・生育環境 (注1)	(参考)大阪府レッド リスト 2014
ジグモ	クモ目	ジグモ科	○	1・2	-
ワスレナグモ	クモ目	ジグモ科	○	1・2	-
コガネグモ	クモ目	コガネグモ科	○	1・2・5	-
ゲホウグモ	クモ目	コガネグモ科	○	2・5	-
ヒノマルコモリグモ	クモ目	コモリグモ科	○	2	-
ヒトエグモ	クモ目	ヒトエグモ科	○	8 (大阪城とその付近 の古い建造物周辺)	準絶滅危惧

注1：資-6の③参照

#### ⑧陸産貝類（生息情報が少ないため、「保護上注目すべき生き物」を選定せず）

大阪市内では27種の陸産貝類が確認されています。大阪市内では、市街化の進行により乾燥が進んだため、陸産貝類の大半は乾燥に適応した種です。それでもなお、社寺林などでは林床に生息する種が見られます。

和名	目名	科名	大阪市内の保護上 注目すべき生き物	生息・生育環境	(参考)大阪府 レッドリスト 2014
ナガオカモノアラガイ	柄眼目	オカモノアラガイ科	-	-	準絶滅危惧

#### ⑨淡水産貝類

大阪市内では22種の淡水産貝類が確認されています。このうち、外来種は6種、在来種は16種で、この在来種のうち10種を「保護上注目すべき生き物」として選定しました。この10種のうち、市内で絶滅したと考えられているのはナカセコカワニナの1種です。現在生息している在来種は、豊かな生物多様性が維持されている淀川ワンド群などで生息していますが、近年、淀川ではヌートリアの淡水産二枚貝に対する食害が拡大しています。特にイシガイなどはイタセンパラをはじめとするタナゴ類の産卵母貝でもあることから、その影響が懸念されます。

和名	目名	科名	大阪市内の保護上 注目すべき生き物	生息・生育環境 (注1)	(参考)大阪府レッド リスト 2014
マメタニシ	原始紐舌目	マメタニシ科	○	5 (淀川のみ)	絶滅危惧Ⅰ類
ハベカワニナ	盤足目	カワニナ科	○	5 (淀川のみ)	準絶滅危惧
イボカワニナ	盤足目	カワニナ科	○	5 (淀川のみ)	絶滅危惧Ⅱ類
ナカセコカワニナ	盤足目	カワニナ科	○ (絶滅 (注2))	-	絶滅
クロダカワニナ	盤足目	カワニナ科	○	5 (淀川のみ)	絶滅危惧Ⅱ類
ヌマガイ	イシガイ目	イシガイ科	○	5 (淀川のみ)	絶滅危惧Ⅱ類
マツカサガイ	イシガイ目	マツカサガイ科	○	5 (淀川のみ)	絶滅危惧Ⅱ類
トンガリササノハガイ	イシガイ目	マツカサガイ科	○	5 (淀川のみ)	絶滅危惧Ⅱ類
イシガイ	イシガイ目	マツカサガイ科	○	5 (淀川のみ)	準絶滅危惧
マンジミ	マルスダレガイ目	シジミ科	○	4・5	絶滅危惧Ⅱ類

注1：資-6の③参照

注2：市内にかつて生息・生育していた記録が残っているが、最後に確認されてから30年程度経過している、あるいは既知の生息・生育環境が完全に消失したと考えられるため、市内ではすでに絶滅したと考えられる種。